



山王台だより7月号

令和4年6月30日

横浜市立山王台小学校

〒235-0016

横浜市磯子区磯子5丁目2-1

TEL:045(755)1107

【学校教育目標】自分のよさに気づき、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高め合って生きる



3年ぶりのプール、初めてのプール

副校長 山田 正治

暑い日が多くなってきて、教室のエアコンを稼働させる日が増えてきました。そして、ついには6月20日(月)から本校では3年ぶりのプール学習が始まりました。

この学校だよりの記事にもありますが、6月16日(木)には「プール開き」が行われました。プール学習の始まりを告げる多くの学校で行われるイベントです。プログラムの中にプール学習を始めるための「かぎ」を代表の児童が校長先生から受け取る場面があります。子ども達がプール学習のやくそく(きまり)をしっかり守るという誓いを条件に、プールに入って学習をするためにプールの入口を開ける「かぎ」がわたされるというものです。ここでいう「かぎ」の意味は二つあると私は考えます。プール学習で大切なことが二つあるということです。

一つ目は「安全」です。水泳は全身運動で、身体をバランスよく鍛えることができます。また、何と言っても夏の水の中は気持ちよいし、楽しいです。しかし、その反面プール学習は水中で行うことから陸上以上に危険が伴います。そのためには、当たり前ですが「安全」に留意することが大切です。特に今年はコロナ禍での水泳学習となります。マスクを外しての学習となりますので、「声を出さない」というやくそくも追加されています。教職員が場の安全を確保することはもちろん、学習する子ども達自身が十分に安全に気をつけることが楽しいプール学習につながると考えます。

二つ目は「めあて」です。どの教科でもそうですが、めあてを決めて、その達成に向けて学習します。特にプール学習では今もっている力の個人差が大きいので、自分に合っためあてを設定する必要があります。自分に合わない高度なめあては危険な場合がありますし、簡単すぎるめあてでは達成の喜びが少なくなります。自分が一生懸命に努力した結果到達できるくらいのめあてを設定することが理想です。今年は、プール学習の時間数が例年(3年前まで)より少ないため、その時間内でのめあての達成は難しいと思いますが、限られた時間内で全力を尽くしてほしいと思います。

4年生以上にとっては3年ぶり、3年生以下にとっては初めてのプール学習になります。「うきうき」「わくわく」する楽しみな気持ち、「どきどき」などの不安な気持ちと思いはそれぞれでしょうが、まずは「かぎ」の意味の一つ目である「安全」第一に進めていきます。保護者のみなさまには、ご家庭での朝の健康観察、そしてその報告(マチコミ&文書)をよろしく願いたします。



※ここでは水遊び(1・2年) 浮く・泳ぐ運動(3・4年) 水泳(5・6年)を便宜上「プール学習」と表記させていただきました。